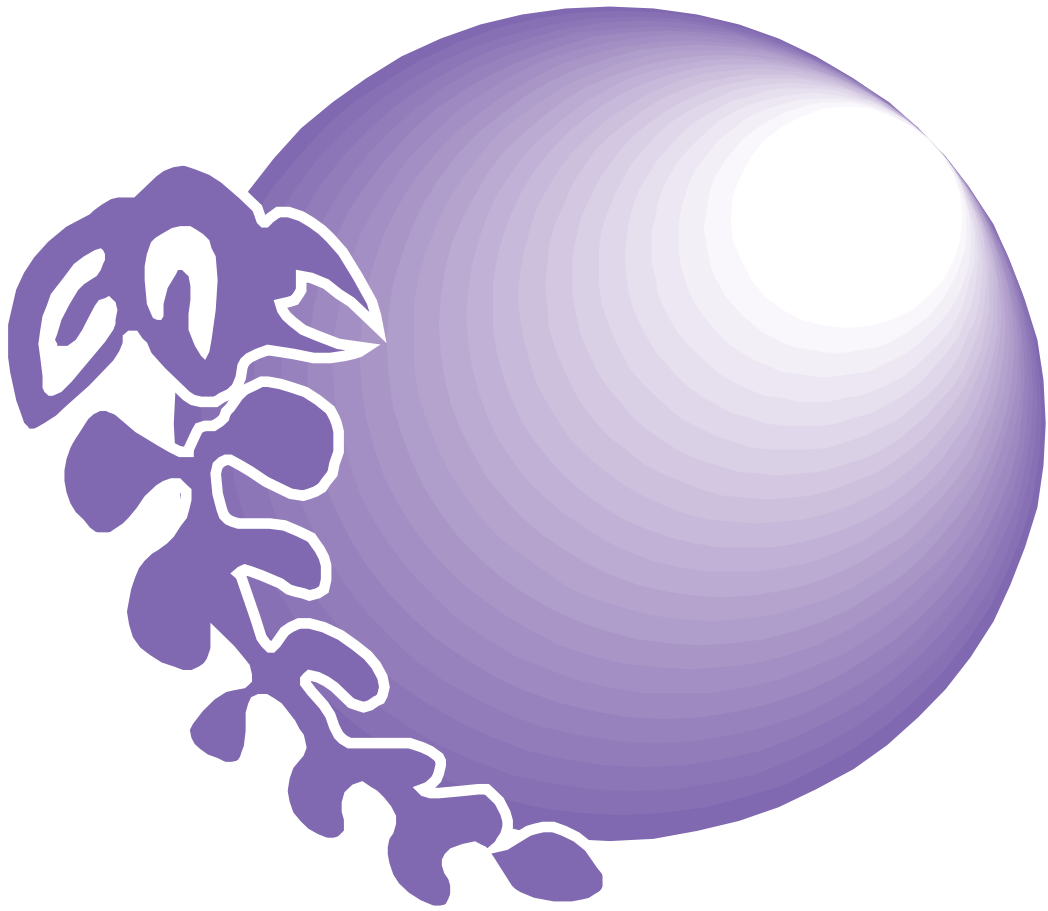


令和4年度

事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)



学校法人 **高崎健康福祉大学**

令和4年度 事業報告書 目次

理事長挨拶	1
1 法人の概要	
1-1 建学の理念、教育方針、設立目的	2
1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況	2
1-3 学園の沿革	3
1-4 役員・評議員・教職員の概要	5
1-5 学校法人組織機構図	8
2 事業の概要	
2-1 入学試験の状況	9
2-2 卒業者数、修了者数	10
2-3 大学院開設	10
2-4 トピックス	10
2-5 施設設備	16
3 財務の概要	
3-1 計算書類等	17
3-2 事業活動収支計算の推移	25
3-3 事業活動収支計算の推移のグラフ	26
3-4 財務比率の推移	28
3-5 資金収支計算書	29
3-6 資金収支計算書 収入の部	29
3-7 資金収支計算書 支出の部	29
3-8 活動区分資金収支計算書	29
3-9 事業活動収支計算書	30
3-10 貸借対照表	30
3-11 監査報告書	31

理事長挨拶

学園理事長 須藤賢一(農学博士)

■ 略歴

- ・北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
- ・農林水産省森林総合研究所成分利用研究室室長
- ・ポストドクターとしてカナダ・サスカチュワン大学化学工学科で研究活動
- ・平成3年から群馬女子短期大学副学長として学園に赴任、以降同短期大学長、学園理事長として現在に至る
- ・群馬県私立大学協会会長
- ・ぐんま地域・大学連携協議会会長
- ・高崎市緊急創生会議委員長
- ・高崎映画祭運営委員長
- ・公益財団法人高崎財団理事



人のために、社会のために。どんな時代でも必要とされる「人間力」を養おう。

「Society5.0」の社会で、高崎健康福祉大学ができること。

人工知能やロボットの技術革新が、人々に豊かで便利な社会をもたらす「Society5.0」。すべての人とモノがつながり、さまざまな知識や情報が共有され、今までにない価値やサービスを生み出す。この新たな社会システムでは、就業形態も今とは大きく変化し、現在の職業のおよそ50%以上が消滅すると予想されています。しかし、高崎健康福祉大学がこれまで取り組んできた「食」、「医療」、「福祉」、「健康」、「教育」などの領域は、どんな時代でも私たちの生活に欠かせないもの。これから大学の門を叩く高校生のみなさんにはぜひ、これらの領域を新たな切り口で追究し、次世代の社会を支えていく人材になってほしいと思います。

「Society5.0」とは

狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、新たな社会を指すもので、内閣府の「第5期科学技術基本計画」においてわが国が目指すべき未来社会の姿として提唱された。

未来志向の「農学」を実現し、日本の農業を世界に発信する。

そして、来たる「Society 5.0」の時代に向けて、高崎健康福祉大学は新たな一歩を踏み出しました。そのひとつが、2019年に新設された農学部。最先端の科学技術やICTを積極的に取り入れ、今までにない「農学」を実現します。さらに、農産物の品種開発や流通・販売からブランディング、マーケティングに至るまで一貫した学びを展開。農産物の国際基準であるグローバルGAP認証(*)の取得にも注力し、国際社会で通用する農業人材を育てます。ドローンやAIなどの最新技術を駆使して高品質な農産物を生み出し、自らの手で海外市場にアプローチしていく。地産地消の時代から脱却し、日本の農業の魅力を世界に発信することが、高崎健康福祉大学の農学部の使命なのです。

* 食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する優良企業に与えられる、世界基準の農業認証

2019年4月、農学部棟が竣工

大小さまざまな講義室、各種実験施設、農産加工処理室を設置。隣接地には「スマート農場」も整備している。

新たな価値を生み出すために大切なのは「人間力」。

人工知能やロボットと人間が共生する時代は、すぐそこに迫っています。これからの社会で新たな価値を生み出すために私たちが養うべきもの。それは、人間にしか持ち得ない課題発見・解決能力やコミュニケーション能力です。一人ひとりが社会のため、人のために何ができるかを考え、実践する。Society5.0の社会で求められる「人間力」の本質は、ここにあります。そしてこれは、高崎健康福祉大学が開学以来掲げてきた「自利利他」(じりりた)の精神とも一致します。5学部8学科を擁する総合大学として、新たなスタートを切った高崎健康福祉大学。どんな時代においても、人のため、社会のために貢献できる「人間力」をここで身につけてください。

～高崎健康福祉大学HPより～

1 法人の概要

1-1 建学の理念、教育方針、設立目的

建学の理念: 人類の健康と福祉に貢献する

教育方針: 人の喜びを己の喜びとする「自利利他」の精神の涵養

設立目的:

大学は教育基本法および学校教育法に従い、健康と福祉にかかわる諸問題を情報処理、福祉、栄養、薬学、看護、理学療法及び子ども教育の観点から総体的に捉え、快適な人間生活の方策を攻究すると共に、健康を基調とした人間中心型の福祉社会の創造に貢献できる指導的な人材の養成を目的とする。

高校は教育基本法並びに学校教育法により中学校の教育の上に心身の発達に応じて、高等普通教育を施行することを目的とする。

幼稚園は学校教育法に従って幼児を保育し、適当なる環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況

* 現員数は令和4年5月1日現在

学校名	学部・専攻・学科・課程	開設年度	入学定員 (人)	入学者数 (人)	編入学収容 定員(人)	編入学者数 (人)	収容定員 (人)	現員 (人)
高崎健康福祉大学 大学院	健康福祉学研究科(修士) 医療福祉情報学専攻	平成17年度	3	1	—	—	6	2
	保健福祉学専攻		3	1	—	—	6	1
	食品栄養学専攻		4	1	—	—	8	4
	健康福祉学研究科(博士) 保健福祉学専攻	平成19年度	3	1	—	—	9	8
	食品栄養学専攻		2	0	—	—	6	2
	薬学研究科(博士) 薬学専攻	平成24年度	3	1	—	—	12	8
	保健医療学研究科(修士) 看護学専攻	平成24年度	6	6	—	—	12	11
	理学療法学専攻		3	4	—	—	6	8
	農学研究科(修士) 生物生産学専攻	令和4年度	4	0	—	—	8	0
	農学研究科(博士) 生物生産学専攻	令和4年度	2	1	—	—	6	1
	計			33	16	—	—	79
高崎健康福祉大学	健康福祉学部 医療情報学科	平成13年度	70	92	—	—	280	332
	社会福祉学科		60	86	—	—	240	319
	健康栄養学科		80	99	—	—	320	345
	薬学部 薬学科	平成18年度	90	100	—	—	540	575
	保健医療学部 看護学科	平成18年度	100	102	—	—	400	423
	理学療法学科		40	49	—	—	160	191
	人間発達学部 子ども教育学科	平成24年度	80	97	—	—	320	364
	農学部 生物生産学科	令和元年度	100	85	—	—	400	339
計			620	710	—	—	2,660	2,888
高崎健康福祉大学 高崎高等学校	普通科 全日制課程	昭和43年度	460	444	—	—	1,380	1,337
高崎健康福祉大学 附属幼稚園	—	昭和49年度	120	95	—	—	360	245

1-3 学園の沿革

昭和11年	2月10日	須藤和洋裁女学院を創立
昭和24年	2月21日	須藤和洋裁女学院を設立認可
昭和29年	12月18日	財団法人須藤学園を設立認可 須藤高等技芸学校と改称
昭和35年	2月20日	準学校法人須藤学園を設立認可
昭和41年	1月27日	学校法人須藤学園を設立認可
〃	〃	群馬女子短期大学家政科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和42年	1月23日	群馬女子短期大学国文科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和43年	1月17日	群馬女子短期大学附属高等学校普通科「全日制課程」を設置認可、同年4月1日から開校
昭和44年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科・国文学科と改称
昭和45年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を家政専攻(40人)・食物栄養専攻(40人)に専攻分離
昭和46年	4月3日	学校法人群馬女子学園と改称
昭和49年	2月27日	群馬女子短期大学附属幼稚園を設置認可、同年4月1日から開園
昭和63年	12月22日	群馬女子短期大学経営情報学科を設置認可、平成元年4月1日から開学
平成2年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を生活学科に、家政専攻を生活教養専攻と改称
平成11年	12月22日	群馬女子短期大学国文学科を日本語コミュニケーション学科に、経営情報学科を情報文化学科に設置認可、平成12年4月1日から開学
平成12年	12月21日	高崎健康福祉大学健康福祉学部健康情報学科、保健福祉学科、健康栄養学科設置認可、平成13年4月1日から開学
平成13年	4月1日	学校法人高崎健康福祉大学、高崎健康福祉大学短期大学部、高崎健康福祉大学高崎高等学校、高崎健康福祉大学附属幼稚園と改称
平成13年	8月1日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科児童福祉専攻(80人)設置認可、平成14年4月1日から開学
平成13年	10月30日	高崎健康福祉大学短期大学部国文学科及び経営情報学科廃止認可
平成14年	12月19日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を設置認可、平成15年4月1日から開学
平成16年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部日本語コミュニケーション学科を廃止
平成16年	4月1日	高崎健康福祉大学健康情報学科を医療福祉情報学科に改称し入学定員を70名に、健康栄養学科の入学定員を80名に、高崎健康福祉大学短期大学部生活学科生活教養専攻並びに児童福祉専攻を改組し、生活学科と児童福祉学科を設置
平成16年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科設置認可、平成17年4月1日から開学
平成17年	12月5日	高崎健康福祉大学薬学部薬学科及び看護学部看護学科設置認可、平成18年4月1日から開学
平成18年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科(博士後期課程)設置認可、平成19年4月1日から開学
平成19年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科を廃止
平成19年	9月30日	高崎健康福祉大学短期大学部情報文化学科を廃止

平成21年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を廃止
平成21年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科を医療情報学科に保健福祉学科を社会福祉学科に改称
平成22年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科の入学定員を60名に、高崎健康福祉大学看護学部を保健医療学部へ改称、高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科を開学
平成23年	10月24日	高崎健康福祉大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程、保健医療学研究科看護学専攻修士課程、高崎健康福祉大学人間発達学部子ども教育学科を設置認可、平成24年4月1日から開学
平成25年	7月4日	高崎健康福祉大学短期大学部児童福祉学科廃止認可
平成26年	3月27日	収益事業(医療・福祉)を開始することに対し認可、平成26年10月20日から高崎健康福祉大学附属クリニック開院
平成26年	4月1日	高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科看護学専攻に助産学分野を開設
平成27年	4月1日	高崎健康福祉大学訪問看護ステーション、女性・妊産婦ケアステーションを開設
平成27年	7月	高崎健康福祉大学看護実践開発センター開設
平成28年	6月1日	高崎健康福祉大学看護実践開発センター認定看護師教育課程(認知症看護)開講
平成30年	4月1日	高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科理学療法学専攻修士課程を開学
平成30年	8月31日	高崎健康福祉大学農学部生物生産学科を設置認可、平成31年4月1日開学
平成31年	4月	高崎健康福祉大学女性・妊産婦ケアステーションを廃止
令和3年	9月3日	高崎健康福祉大学大学院農学研究科生物学専攻博士前期課程、同専攻博士後期課程を設置認可、令和4年4月1日開学
令和3年	10月1日	高崎健康福祉大学看護実践開発センター特定行為研修課程開講
令和4年	4月1日	高崎健康福祉大学看護実践開発センター認定看護師教育課程(感染管理)開講

・評議員(任期4年) 定数 23～30人 常勤 15人
 非常勤 11人
 合計 26人

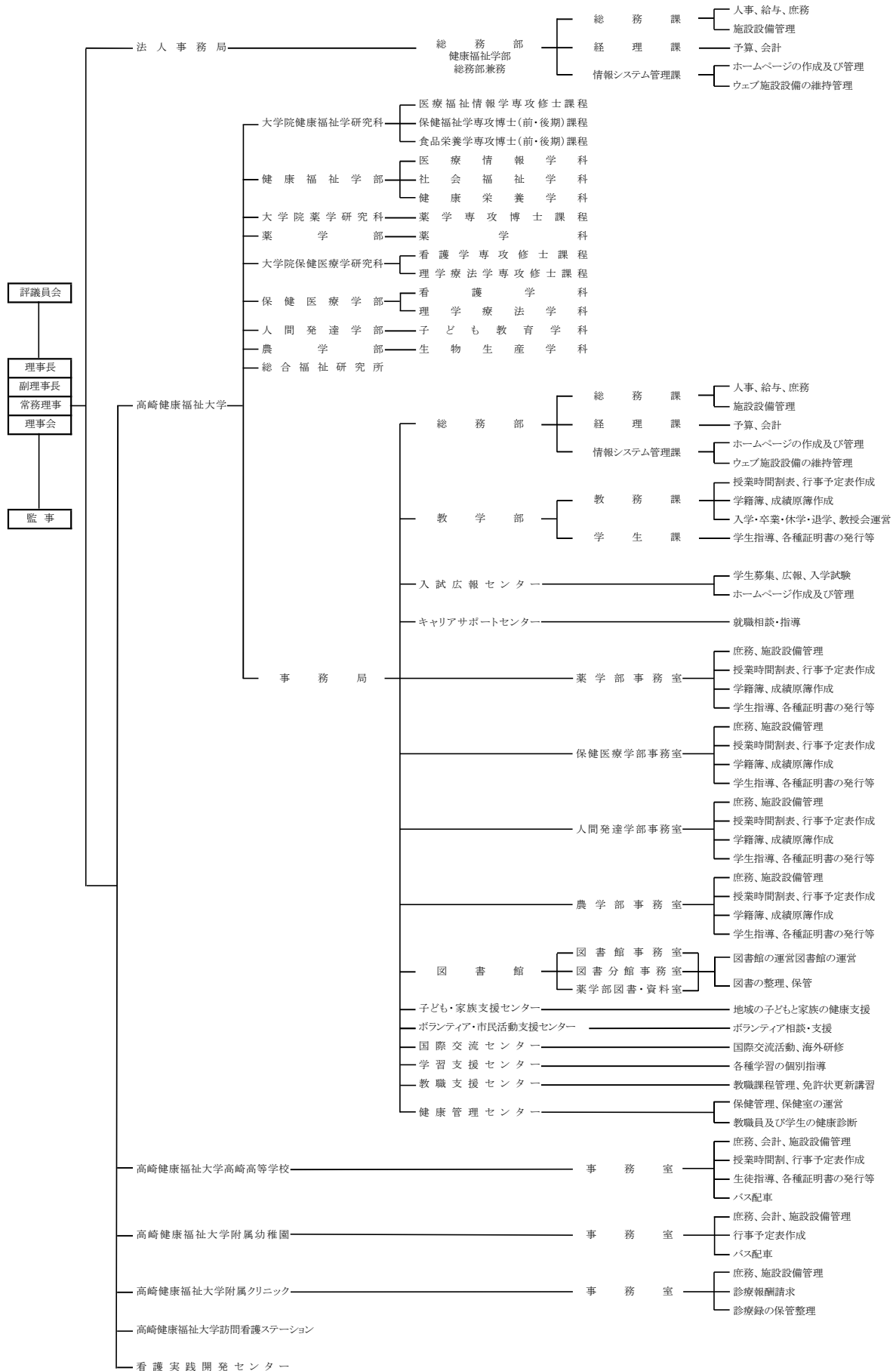
氏名	常勤・非常勤の別	選任区分等		就任年月日 (重任年月日)
		項又は号	選任区分	
須藤 賢一	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H2.2.6 (R4.4.1)
磯貝 昭夫	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H10.3.30 (R4.4.1)
須藤 領久	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	H18.4.1 (R4.4.1)
宮田 正枝	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	S52.12.12 (R4.4.1)
須藤 邦彦	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 (R4.4.1)
加藤 陽彦	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H21.5.28 (R4.4.1)
井出 紘和	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H26.4.1 (R4.4.1)
佐藤みつ江	非常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H2.4.1 (R4.4.1)
檜野加寿美	非常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H14.4.1 (R4.4.1)
松本 信利	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H10.4.1 (R4.4.1)
倉持 純晃	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 (R4.4.1)
宮澤 哲哉	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R2.5.22 (R4.4.1)
板橋 聖	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R4.5.20 (—)
大澤 繭美	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R4.5.20 (—)
東福寺幾夫	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R4.5.20 (—)
寺田 勝英	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R2.5.22 (R4.4.1)
渡邊 秀臣	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R2.5.22 (R4.4.1)
栗原 幸正	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R5.5.19 (—)
大政 謙次	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R1.5.17 (R4.4.1)
内田 幸子	常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H30.4.1 (R4.4.1)
町田 修三	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H18.4.1 (R4.4.1)
澁澤 直子	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	H27.5.22 (R4.4.1)
小針乃理子	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R3.5.21 (R4.4.1)
鈴木 仁史	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 (R4.4.1)
大倉 英章	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	R2.5.22 (R4.4.1)
岡田 秀昭	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R3.5.21 (R4.4.1)

・教職員

* 令和4年5月1日現在

学校	学部等	本務教員	非常勤教員	本務職員	兼務職員	合計
	法人	0	0	4	0	4
大学	健康福祉学部	70	55	59	48	232
	薬学部	37	0	7	16	60
	保健医療学部	63	48	11	16	138
	人間発達学部	30	9	8	10	57
	農学部	26	21	4	5	56
	小計	226	133	89	95	543
	高等学校	82	16	13	5	116
	幼稚園	20	9	1	5	35
	合計	328	158	107	105	698

1-5 学校法人組織機構図



2 事業の概要

2-1 入学試験の状況(令和5年4月入学対象)

学校	学部	学科	区分	総合	推薦	一般	特別	合計
大学	健康福祉	医療情報	志願者	8	54	146	0	208
			受験者	8	53	142	0	203
			合格者	7	53	90	0	150
			倍率	1.1	1.0	1.6	-	1.4
		入学者	6	53	25	0	84	
		社会福祉	志願者	11	58	162	2	233
			受験者	11	58	157	2	228
			合格者	7	55	73	0	135
			倍率	1.6	1.1	2.2	-	1.7
		入学者	6	55	19	0	80	
		健康栄養	志願者	27	67	227	1	322
			受験者	27	67	213	1	308
	合格者		8	50	63	1	122	
	倍率		3.4	1.3	3.4	1.0	2.5	
	入学者	6	49	24	1	80		
	薬	薬	志願者	46	54	359	1	460
			受験者	45	53	345	1	444
			合格者	20	43	178	0	241
			倍率	2.3	1.2	1.9	-	1.8
	入学者	13	43	41	0	97		
	保健医療	看護	志願者	77	85	492	1	655
			受験者	74	84	485	1	644
			合格者	30	45	183	0	258
			倍率	2.5	1.9	2.7	-	2.5
		入学者	17	45	50	0	112	
		理学療法	志願者	28	33	265	0	326
			受験者	28	32	261	0	321
			合格者	9	22	53	0	84
倍率	3.1		1.5	4.9	-	3.8		
入学者	7	22	20	0	49			
人間発達	子ども教育	志願者	12	80	223	0	315	
		受験者	12	80	219	0	311	
		合格者	8	71	103	0	182	
		倍率	1.5	1.1	2.1	-	1.7	
入学者	6	71	22	0	99			
農	生物生産	志願者	26	45	295	3	369	
		受験者	26	44	291	3	364	
		合格者	20	44	197	2	263	
		倍率	1.3	1.0	1.5	-	1.4	
入学者	14	44	29	1	88			
合計	合計	志願者	235	476	2,169	8	2,888	
		受験者	231	471	2,113	8	2,823	
		合格者	109	383	940	3	1,435	
		倍率	2.1	1.2	2.2	2.7	2.0	
入学者	75	382	230	2	689			
学校			区分	推薦	学特Ⅰ	学特Ⅱ	一般	合計
高等学校			志願者	387	953	982	5	2,327
			受験者	385	943	583	5	1,916
			合格者	377	882	521	2	1,782
			倍率	1.0	1.1	1.1	2.5	1.1
入学者	377	54	2	3	436			

2-2 卒業者数、修了者数(令和4年度)

学校	学部・研究科	学科・専攻	卒業者数
大学院	健康福祉学研究科	保健福祉学専攻 博士後期課程	2
		医療福祉情報学専攻 修士課程	1
		食品栄養学専攻 博士前期課程	3
	薬学研究科	薬学専攻 博士課程	2
		論文提出による博士(薬学)	1
	保健医療学研究科	看護学専攻 修士課程	5
理学療法学専攻 修士課程		4	
大学	健康福祉学部	医療情報学科	82
		社会福祉学科	76
		健康栄養学科	84
	薬学部	薬学科	89
	保健医療学部	看護学科	109
		理学療法学学科	45
	人間発達学部	子ども教育学科	85
農学部	生物生産学科	95	
高等学校			462
幼稚園			92

2-3 大学院開設

令和4年4月開設

○大学院農学研究科開設

令和4年4月に農学部博士前期課程および博士後期課程を同時に開設しました。学部からの進学希望者はもちろん、研究・開発に携わる社会人の方々も積極的に迎え入れてまいります。

2-4 トピックス

○大学就職率

キャリアサポートセンターでは、各学科の就職活動スケジュールに合わせて、就職講座、SPI対策講座、公務員試験対策講座、キャリアカウンセラーによる履歴書の添削や模擬面接の実施、小論文対策など実践に即した指導を行っています。また、「求人情報検索システム」を活用して、学生は求人情報及び求人票をパソコンや携帯電話から検索・閲覧できるようになっています。さらにセンターに求人情報が入ると、随時学科別に情報を配信しています。

各学部の就職率は表1～5のとおり、健康福祉学部98.7%、保健医療学部100.0%、薬学部100.0%、人間発達学部100%、農学部100%となっています。

今後も、アドバイザーの教員や各学科のキャリアサポート委員との連携を密にして、学生の就職を支援して参ります。

表1 健康福祉学部就職内定率

健康福祉学部	医療情報学科	社会福祉学科	健康栄養学科	合計
卒業者	82名	76名	84名	242名
大学院等進学	2名	0名	3名	5名
就職希望者	80名	76名	81名	237名
就職者数	80名	75名	79名	234名
内定率	100.0%	98.7%	97.5%	98.7%

表2 保健医療学部就職内定率

保健医療学部	看護学科	理学療法学学科	合計
卒業者	109名	45名	154名
大学院等進学	4名	2名	6名
就職希望者	105名	43名	148名
就職者数	105名	43名	148名
内定率	100.0%	100.0%	100.0%

表3 薬学部就職内定率(9月卒業生除く)

薬学部	薬学科	合計
卒業者	68名	68名
大学院等進学	6名	6名
就職希望者	62名	62名
就職者数	62名	62名
内定率	100.0%	100.0%

表4 人間発達学部就職内定率

人間発達学部	子ども教育学科	合計
卒業者	85名	85名
大学院等進学	1名	1名
就職希望者	84名	84名
就職者数	84名	84名
内定率	100.0%	100.0%

表5 農学部就職内定率

農学部	生物生産学科	合計
卒業者	95名	95名
大学院等進学	8名	8名
就職希望者	87名	87名
就職者数	87名	87名
内定率	100.0%	100.0%

○国試等の合格者数・合格率

令和4年度卒業生・在学生の国試等の合格者(合格率)は以下の通りです。

表6 国試等の合格者数・合格率

学科	試験	受験者	合格者	合格率
医療情報	診療情報管理士認定試験	20名	20名	100.0%
社会福祉	社会福祉士国家試験	67名	64名	95.5%
	精神保健福祉士国家試験	13名	13名	100.0%
	介護福祉士国家試験	17名	17名	100.0%
健康栄養	管理栄養士国家試験	81名	79名	97.5%
	NR・サプリメントアドバイザー認定試験	30名	26名	86.7%
薬	薬剤師国家試験	68名	61名	89.7%
看護	看護師国家試験	109名	109名	100.0%
	保健師国家試験	20名	20名	100.0%
理学療法	理学療法士国家試験	45名	43名	95.6%
大学院・看護学専攻	助産師国家試験	5名	5名	100.0%
人間発達学部	教員採用試験 小学校教諭(公立)	22名	14名	63.6%
	教員採用試験 中学校教諭(公立)	1名	1名	100.0%
	教員採用試験 特別支援学校(公立)	7名	6名	85.7%
	公務員(保育職)	13名	10名	

○その他の事業

▽国際交流

本年度は、対面での活動を再開し、グローバルカフェ特別編として、県内で学ぶ留学生や、ウクライナ出身の学生との交流を行った他、JICA、JOCA協力のもと、国内での国際交流研修を初めて実施しました。後期には4年ぶりとなる、海外提携大学からの学生受入れを再開し、互いの国の医療事情を知って、その背景を比較したうえでディスカッションしたり、文化交流では高崎だるまの絵付け体験他、高崎観音山、回転寿司に一緒に行ったりと、学生が主体となり活発な交流が行われました。令和5年3月にはタイ海外研修が実施され、タマサート大学の温かい歓迎のもと、講義受講、医療施設訪問、文化交流等、充実したプログラムとなりました。令和2年以降、海外との交流はOnlineのみでしたが、今回、感染症対策を施した上で、対面での交流が実現したことは、参加者にとっても受け入れ側にとっても感慨深く、交流を継続していく大切さを改めて実感する機会となりました。

[学内交流] * ()内は参加学生数

- ◎ グローバルカフェ
R4年4月～R5年1月 26回 (201名)
- ◎ 世界とつながるはじめの一步
R4年5月20日 (17名)
- ◎ 写真コラージュ
R4年7月2日 (21名)
- ◎ 世界とつながる国際交流 ウクライナ
R3年7月11日 (6名)
- ◎ タイ、ドイツ、フィンランドからの学生受入れプログラム
R5年2月20～28日 R5年2月26日～3月5日 (計40名)

[学外交流]

- ◎ 国際交流研修 in 駒ヶ根
R4年9月13日～16日 (13名)

[海外研修]

- ◎ タイ海外研修(看護)学科
R5年3月13日～18日 (9名)

[Online交流]

- ◎ クロアチア在住ご夫婦とのOnline交流
R4年11月27日 (8名)

[その他]

その他、薬学科より1名、生物生産学科より1名、計2名が、県内大学生から5名選抜の、ぐんま赤尾奨学財団、大学生海外留学奨学金受給資格者として採択され、うち一名が令和5年3月に短期留学(フィジー)を実現しました。

今後もより充実した国際交流活動を目指し、質の高い魅力的なプログラムを考えていきたいと思っております。

▽ボランティア関係

ボランティア・市民活動支援センターには、少しずつ新型コロナウイルス感染対策を講じながら活動を再開する団体が現れ、ボランティアの依頼も届くようになりました。学生の企画による活動も、感染対策を十分に講じた上で、ほぼ対面で実施できました。令和4年度に依頼のあった団体、活動先に依頼をした団体、学生自身が情報を得た団体などへの参加状況は、のべ177団体・823人となりました。

今年度、観音山ファミリーパーク指定管理者「NPO法人 KFP友の会」と「学生ボランティアに関する協定」を結びました。学生のボランティア活動の会場としての利用をスムーズにできたり、スタッフの方と連携しやすくなりました。

・「リサイクル資源回収活動の学内回収」は、今年度、「あなたの愛で誰かのeyeを救おうECOプロジェクト」と題し、コンタクトレンズの空ケース回収を学生が企画したところ、コンタクトレンズを使用している学生・教職員が日常的に回収箱にケースを入れてくれるようになり、継続して回収を行うことになりました。

・学内でできる活動として始めた学内「天空ガーデン」(8号館屋上)の除草作業と花植えのボランティアは、活動に興味がある学生の登録を行い、「子ども教育学科活力量向上委員会」とともに、6回の活動を実施することができました。

・事前に演奏を収録し、当日はリモートで会場につないで交流をはかる「オンライン音楽交流会」活動についても、活動したいと申し出てくれた学生により新しい演奏動画を作成することができ、対面の活動がまだできていない病院で実施しました。

・専門性を活かした活動「高崎市内の梨園の援農ボランティア」、「群馬県立小児医療センターの子どもたちに暑中お見舞いはがき・手作りクリスマスプレゼントを贈ろう」、「レクリエーション活動を活かしたボランティア」などを企画・実施しました。

・災害復興支援団体「わたりば」のリーダーを中心に、令和4年台風15号災害支援金募金活動を高崎駅・及び学内で実施しました。学内は大学祭及び授業日のお昼休みに実施し、合計52,582円を集めることができました。集めた募金は福)中央共同募金会「令和4年台風15号災害ボランティア・NPOサポート募金」に寄付しました。

・災害復興支援団体「わたりば」では、新型コロナウイルス感染症流行により活動できていなかった宮城県亘理町でのボランティア活動を再開しました。新型コロナ前の活動を知っている学生が卒業してしまい、予備知識が少ない中での活動でしたが、活動先である亘理町中央児童センターの子どもたちは学生の考えた創作活動に熱心に取り組んでくれました。また、震災遺構を語り部の方に案内をしていただき、当時のお話を詳しく聞きました。現地に行くことで知ることができたことが多くあったボランティアツアーでした。

・赤い羽根共同募金の学内募金は、11月末～12月初めにかけて、募金サポーター延べ72人により募金の呼びかけを学内5か所で1週間実施しました。募金箱設置も同時に実施し、合計で50,185円集まり、群馬県共同募金会高崎市支会に寄付することができました。

・企業とコラボして、ベルマーク運動を展開しています。学生グループ「べるふあみ」が回収ボックスの設置や回収を担当しています。令和4年度に収集したベルマークの合計点数は6,756点でした。企業を通じて、被災地域の学校支援に役立てています。

・VSC学生スタッフ主催「ボラカフェ」(ボランティア活動に取り組んでいる学内の部活・サークル・ボランティア活動を目的としている団体のメンバーが、新入生を主な対象として参加希望の学生に説明する交流の場)を、対面で開催しました。主催しているVSC学生スタッフを含め、9つの団体が説明を行いました。

・VSC学生スタッフ企画として、「スパトレイルトリップツアーサポート&清掃ボランティア」「わくわく大作戦(観音山ファミリーパーク交流室を利用した子どもの遊び企画)」などを実践しました。

・高崎商科大学地域連携センター学生スタッフとの大学間交流では、準備から実践までを合同で実施する富岡クリスマスマルシェサブイベント(クリスマスの雰囲気遊び場活動)を行いました。

・高崎市NPO・ボランティアフェスティバルにおいて、本学の活動のパネル展示の他に、子どもの遊び場を作り、参加者に楽しんでいただきました。また、高崎市内の4大学で、それぞれの活動を巡っていただいた参加者に記念撮影ができる合同ブースを運営し、好評をいただきました。

▽健康福祉学部

・医療情報学科の高橋真悟助教らの研究グループが国際誌Sensorsに論文を投稿し、掲載されました。本論文は、本学理学療法学科富田講師を中心に、医療情報学科、本学理学療法学科、徳島大学歯学部で共同研究を行った成果を発表したものです。掲載された論文の研究内容は、タブレットの角度および立位・在位における頸部や肩、腰背部への負荷の影響を調査したものとなっています。

・健康栄養学科の應本真講師が第11回三島海雲学術賞(自然科学部門)を受賞しました。同賞の自然科学部門は、「食の科学」に関する研究領域において、創造性に富み、とりわけ優れた研究能力を有する若手研究者(45歳未満)を顕彰し、その研究の発展を支援することを目的としたものです。

▽薬学部

・薬効解析学研究室(代表:松岡功教授)の吉田一貴助教は薬剤性偽アレルギーが細胞外ATP受容体であるP2X4受容体によって悪化することを発見しました。本研究を発展させることで、副作用の少ないより安全な薬物療法の開発につながることを期待されます。

・将来的に薬剤師がワクチン接種の担い手として社会貢献することを想定し、筋肉注射の手技を学ぶ実習を4年生を対象に実施しました。

・第5回群馬県薬学大会において地域医療薬学研究室の土井信幸准教授がポスター部門で優秀演題賞を受賞しました。

▽保健医療学部

・看護学科の中島広美准教授が長年の病院勤務が評価され、秋の叙勲において「瑞宝単光章」を受賞されました。

・看護学科では、令和4年5月7日(土)に日本国際看護学会、ダナン医薬技術大学(ベトナム)とオンライン交流を行いました。COVID-19感染拡大の中、看護教育において、演習や臨地実習ができない状況での学内実習や代替実習の工夫など意見交換が行われ、とても充実した交流を行うことができました。

・令和4年10月8日開催された「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんま」に、看護学特論の受講している学生及び教員を中心とした高崎健康福祉大学チームとして参加しました。がんサバイバー(がん患者、がん経験者)さんや他の参加者の方々と共にウォークラリーを行い、がん患者と共にがん向き合う連帯感を共有することができました。

・看護学科では、令和4年10月22日、既卒生を対象にホームカミングデーを開催しました。3年ぶりの開催となった今回は、令和元年度～令和3年度に卒業した17名の同窓生が県内外から参加し、懐かしい先生方や久しぶりに顔を合わせる同窓生同士で近況を報告したりしました。

・理学療法学科の篠原智行教授が第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会で学会賞を受賞しました。篠原教授は「COVID-19 拡大予防の自粛生活中における、フレイル新規発生のスクリーニング法の開発」を発表し、COVID-19禍における高齢者の健康に対して、理学療法士としての視点から検討した内容で、学会審査員から高評価を得て、217演題の中から選出されました。

・理学療法学科4年生の松本竜弥さんが筆頭の論文が国際誌Journal of Sports Science and Medicineに掲載されました。この研究は、高強度運動前のパフォーマンスを高めるために有効な事前運動について比較検討したものです。学部生が取り組んだ研究論文が在学中に国際誌に掲載されることは全国的にも大変珍しく、理学療法学科では開学以来初めての快挙となりました。なお、さらに研究を進めるために東京大学大学院修士課程への進学が決まり、これからさらに研究を進める予定です。論文タイトル「Identifying the Optimal Arm Priming Exercise Intensity to Improve Maximal Leg Sprint Cycling Performance」

▽看護実践開発センター

・令和4年4月に特定行為研修を含む感染管理認定看護師教育課程を開講し、20名の受講生を受け入れ、座学のみならず、多くの演習や実習を乗り越え、令和5年3月に修了しました。

・前年度10月に受け入れた看護師特定行為研修課程の3名の受講生がカリキュラムを修了しました。全国的に新型コロナウイルスが蔓延する中、各所属施設での新型コロナウイルス対応を行いながらの受講となり、実習期間を延長し、無事に修了しました。

・令和5年1月に群馬県内の28施設、41名の看護管理者様を対象に看護管理研修を開催しました。関東信越厚生局群馬県事務所の坂田みゆき先生に「適時調査の視点から組織的に感染対策に取り組むために」というテーマで講演いただき、質の高い医療・看護サービスを適切に提供するため、診療報酬制度における施設基準の充足状況を確認する適時調査を受ける必要性を改めて考える機会となりました。また、参加者同士の情報交換も行われ、有意義な時間を持ってたという声をいただくことができました。
なお、この研修は本学大学院保健医療学研究科看護学専攻の修了生が企画運営に参加し、地域の看護の質向上に貢献する機会となりました。

▽人間発達学部

・野田敦史准教授が2022年度(第18回)こども環境学会にてこども環境論文・著作賞を受賞しました。

・社会貢献事業として令和4年8月7日(日)に「子どもと音・音楽との出会い ―音楽教育における鑑賞の意義を考える―」を開催しました。

・令和4年10月21日(金)大学祭実行委員会とコラボして、子ども教育学科学生生活力向上委員会が花火の打ち上げを「10の感謝の物語Ⅱ」と銘うち、約400発の花火を盛大に打ち上げました。

・令和4年12月20日(火)クリスマスイベントとして、クリスマスリースとオーナメントの配布を行いました。コンサートはコロナ感染拡大にともなって中止となり、後日youtubeにて学生の演奏動画を配信しました。

▽農学部

・令和4年4月に大学院農学研究科生物生産学専攻博士前期課程(入学定員4名)、博士後期課程(入学定員2名)が同時に設置されました。

・農学部生物生産学科1期生が卒業し、群馬県職員(1類)5名をはじめ、公務員やJA、有名企業など、100%の就職実績をあげることができました。

・令和4年4月に、宇都宮大学農学部と「教育・研究・社会貢献活動」に関する包括的連携協定を、また、10月に、富岡実業高校と高大連携事業に関する協定を締結しました。

・昨年度に引き続き、「SDGsで協調する社会―私たちにできること」をテーマに「高校生論文コンテスト」を行い、全国から347件の応募がありました。

・理系の高校生向けに、新たに、令和4年度から食と農に関わる探究的な学びの発表の場を提供することを目的として、「高校生自由研究コンテスト」を実施し、全国から17件の応募があり、大学祭の時、受賞者の発表会を行いました。

・令和4年8月から12月にかけて、自治体および県内外の民間企業・団体のご支援で、選択科目「農学インターンシップ」を実施しました。

・令和4年6月に農学部年報(令和3年度)を発行し、生物生産学オリジナルwebサイトの更新を行いました。

・農学部の完成年度を迎え、令和5年度の新入生に適用するための新カリキュラムを作成しました。

・大政謙次学部長が日本生物環境工学会伊都賞を、また、岡部繭子准教授が第13回日本作物学会技術賞を受賞しました。

▽スケート部

・FISUワールドユニバーシティーズゲームズ(2023/レークプラシッド)に日本代表として小野寺留衣(子ども教育学科4年)、山田和哉(医療情報学科3年)、小野寺日菜(子ども教育学科1年)が出場しました。結果は下記の通りです。

小野寺留衣:500m 7位、1000m 8位

山田和哉:500m 2位、1000m 1位、1500m 2位、チームパシュート 1位

小野寺日菜:500m 8位、1000m 9位

山田選手は出場種目全て表彰台に上り、日本選手で最も多いメダル数を獲得し大活躍となりました。小野寺留衣選手は、大学最後の年で日本代表に選ばれ、初の世界での舞台で自分の力を出し切ることができたレースになりました。小野寺日菜選手は、1年生ながら、持ち前のスプリント力を活かしたレースをすることができ、500mでは上位8位以内に入ることができました。

・第95回全日本学生氷上競技大会では、女子が2年ぶり6回目の総合優勝、男子が2位になりました。

女子は、小野寺留衣選手が1000mのレース直前で独走となりましたが、圧倒的な滑りで1位になりました。また、500m3位、2000mリレー1位、チームパシュート2位と全種目で大活躍となりました。

男子は、山田和哉選手が1500mで1位、松本一成が5000m2位、10000m3位とナショナル・ディベロップメントチームに選ばれている2名がそれぞれ表彰台に上り、大活躍となりました。

OB・OGを含め次の冬季オリンピックに向けて頑張っています。また、全日本学生氷上競技大会で男女アベック優勝を目指してチーム一丸となって頑張ります。

▽高等学校

令和4年度の第57回群馬県高校総体の総合開会式は、昨年同様に参加人数を制限しての開催となりましたが、競技は予定通りに実施されました。今年度から、学校対抗が復活し、本校は4年ぶり26回目の女子総合優勝を果たしました。男子は、13位でした。

団体では、バレーボール・ソフトボール・ソフトテニス女子・剣道・水泳(飛び込み)が優勝しました。夏の高校野球県大会は決勝で敗れ甲子園出場は、今年も叶いませんでした。秋季の県大会では、2年ぶりの優勝を果たし、関東大会では、ベスト4に進出し、関東地区の一般代表校として第95回記念選抜高校野球大会(2年ぶり6回目)に出場した。選抜では、初戦で準優勝した報徳学園(兵庫)に2-7で敗れました。春の選抜大会には、ソフトボール部・剣道部、個人で新体操部・柔道部が出場しました。また、日本プロ野球ドラフト会議において、硬式野球部の清水叶人君(捕手)が広島東洋カープより4位指名を受け、卒業生の是澤涼輔君(法政大学)も西武ライオンズより育成4位で指名を受けました。さらに今年度は、男子サッカー部からも初のプロサッカー選手が誕生し、小野関虎之介君が(FW)が地元ザスパクサツ群馬への入団が決まりました。男子サッカー部は、今年度関東プリンスリーグ2部で準優勝(8勝3分4敗)と好成績を残し、来年度から1部昇格と新しい歴史を築きました。文化部では、競技かるた部の石井莉奈さん(3年)が、第46回全国高等学校総合文化祭に群馬県代表として出場し奨励賞を受賞しました。

コロナ禍になって3年目を迎えました。今年こそは収束するのではないかと期待していた新型コロナウイルスですが、第六波・第七波・第八波と増減を繰り返し、現在も予断を許さない厳しい状況が続いています。一方、感染予防対策については、様々な知見も蓄積され、社会活動を止めずに、感染防止対策とのバランスを保っていく方針に移行しつつあります。学校においても、様々な感染防止対策は行いつつも、少しずつ日常の教育活動が行われるようになってきました。来年度は、学校行事なども極力通常に近い形で実施できることを願っております。

高等学校では、今年度の入学生から学習指導要領が改訂され、年次進行で実施しており、これからの高等学校の教育については、生徒たちが多様な他者と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となっていくために必要な資質・能力を身に付けることが極めて重要です。それに伴い本校では、「探究学習」を学びの1つの柱として、「自他ともにWell-beingの実現に向かう学習者となる」ことを大きな目標として人間的な成長を図っています。また情報教育の環境整備にも力を入れ、校内Wi-Fi環境や全教室に黒板投影型の大型プロジェクター「ワイド」を設置し、安全で快適な学習環境のもとICTを効果的に活用した教育を推進しております。さらには、昨年女子寮の「藤寮」が建て替えられ、4階建て27部屋完備の新しい寮が8月に完成しました。生徒たちは、この恵まれた学習環境の中で伝統と校風を守り、校訓である「感謝・奉仕・友愛」を大きな理想とし一生懸命に努力しております。気持ちの良い挨拶や笑顔あふれる学校、真摯に学ぶ生徒や情熱ある教職員、素晴らしい環境の中で、「文武両道」を実践し、学習と部活動のバランスの取れた学校生活を楽しみながら送っています。

▽幼稚園

・幼稚園では大学健康栄養学科や高校科学部と連携して食育や科学あそびに取り組み、保育内容の充実を図ると共に多様な関わりを通して子どもの人格形成の土台作りを行っています。

・非認知能力の育成を保育の中心に置き、園児が友達と広い園庭で伸び伸びと遊んだり、多様な経験をしたりすることにより、主体性や自己肯定感、思考力、人と関わる力、思いやり、自制心等が高まるようにしています。

・地域内でも認定こども園に移行する施設が増加する中、健大附属幼稚園は従前通りの幼稚園として建学の精神を守りながら、幼児教育を実践していきます。

2-4 施設設備

○大学1・2・6号館空調設備工事

大学1・2・6号館のエアコン老朽化等に伴い更新工事を行いました。学生にとってはこれまで以上に快適な環境で講義や演習など受けることができ、キャンパスライフも充実することが期待できます。

○高等学校女子寮(藤寮)

令和4年8月、高等学校敷地内に女子寮(藤寮)の建替え新築工事が完了しました。4階建て27部屋あり運動部はもとより遠隔地の一般生徒も入居しており、思う存分勉学に励むことができ、安心して高校生活を送れる環境が整いました。長年親しまれてきた旧藤寮は取り壊され跡地には駐車場が増設されました。

3-1 計算書類等

資金収支計算書

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

(単位 : 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,869,150,000	4,865,399,590	3,750,410
手数料収入	89,450,000	92,165,340	△ 2,715,340
寄付金収入	73,100,000	74,448,244	△ 1,348,244
補助金収入	1,243,600,000	1,186,189,252	57,410,748
国庫補助金収入	589,000,000	523,067,300	65,932,700
県補助金収入	649,900,000	657,852,950	△ 7,952,950
市町村補助金収入	4,700,000	5,269,002	△ 569,002
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	263,450,000	279,499,282	△ 16,049,282
受取利息・配当金収入	30,200,000	32,161,326	△ 1,961,326
雑収入	128,500,000	135,226,686	△ 6,726,686
借入金等収入	700,000,000	700,000,000	0
前受金収入	690,050,000	731,132,100	△ 41,082,100
その他の収入	172,700,000	218,885,052	△ 46,185,052
資金収入調整勘定	△ 801,050,000	△ 828,465,088	27,415,088
前年度繰越支払資金	2,966,950,000	2,966,991,267	
収入の部 合計	10,426,100,000	10,453,633,051	△ 27,533,051
支出の部			
人件費支出	3,587,000,000	3,595,132,649	△ 8,132,649
教育研究経費支出	1,830,650,000	1,820,595,622	10,054,378
管理経費支出	572,750,000	566,122,962	6,627,038
借入金等利息支出	1,450,000	1,866,587	△ 416,587
借入金等返済支出	60,000,000	60,000,000	0
施設関係支出	451,250,000	425,657,350	25,592,650
設備関係支出	205,300,000	192,227,618	13,072,382
資産運用支出	357,750,000	360,778,423	△ 3,028,423
その他の支出	87,500,000	132,280,575	△ 44,780,575
(予備費)	(20,000,000)		0
資金支出調整勘定	△ 56,400,000	△ 32,115,082	△ 24,284,918
次年度繰越支払資金	3,328,850,000	3,331,086,347	△ 2,236,347
支出の部 合計	10,426,100,000	10,453,633,051	△ 27,533,051

資金収支内訳表

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科目	部門 学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
学生生徒等納付金収入	0	4,145,632,440	604,519,350	115,247,800
手数料収入	1,800	64,323,460	27,642,080	198,000
寄付金収入	0	70,162,244	4,286,000	0
補助金収入	4,094,000	521,039,996	607,929,756	53,125,500
国庫補助金収入	2,821,000	520,246,300	0	0
県補助金収入	1,273,000	65,000	607,780,950	48,734,000
市町村補助金収入	0	728,696	148,806	4,391,500
資産売却収入	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	26,014,000	126,301,843	123,172,449	4,010,990
受取利息・配当金収入	32,161,326	0	0	0
雑収入	2,600,581	86,441,572	42,401,739	3,782,794
借入金等収入	0	700,000,000	0	0
計	64,871,707	5,713,901,555	1,409,951,374	176,365,084

支出の部

(単位：円)

科目	部門 学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
人件費支出	34,216,175	2,742,114,097	712,164,273	106,638,104
教育研究経費支出	0	1,422,485,619	346,910,577	51,199,426
管理経費支出	59,896,149	274,719,752	224,131,967	7,375,094
借入金等利息支出	0	155,342	1,711,245	0
借入金等返済支出	0	0	60,000,000	0
施設関係支出	0	193,076,350	232,581,000	0
設備関係支出	112,860	146,421,535	45,693,223	0
計	94,225,184	4,778,972,695	1,623,192,285	165,212,624

人件費支出内訳表

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
教員人件費支出	0	2,111,320,830	603,702,143	256,713,045
本務教員	0	2,065,869,716	571,585,866	247,071,065
本俸	0	1,138,451,930	308,950,912	46,986,124
期末手当	0	446,514,900	120,184,800	180,487,000
その他の手当	0	168,596,364	51,807,452	6,391,297
所定福利費	0	312,306,522	90,642,702	13,206,644
兼務教員	0	45,451,114	32,116,277	9,641,980
職員人件費支出	33,136,175	593,907,050	68,353,895	11,132,969
本務職員	32,040,780	473,028,596	54,853,303	6,901,960
本俸	17,823,000	264,195,182	33,103,450	3,397,200
期末手当	7,956,600	87,592,700	8,336,900	1,535,100
その他の手当	5,055,343	46,412,593	4,194,022	826,212
所定福利費	1,205,837	74,828,121	9,218,931	1,143,448
兼務職員	1,095,395	120,878,454	13,500,592	4,231,009
役員報酬支出	1,080,000	0	0	0
退職金支出	0	36,886,217	40,108,235	1,230,390
教員	0	27,475,595	40,108,235	1,230,390
職員	0	9,410,622	0	0
合計	34,216,175	2,742,114,097	712,164,273	269,076,404

活動区分資金収支計算書

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

(単位 : 円)

		科目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒納付金収入	4,865,399,590
		手数料収入	92,165,340
		特別寄付金収入	39,948,244
		経常費等補助金収入	1,163,554,252
		付随事業収入	279,499,282
		雑収入	135,226,686
		教育活動資金収入計	6,575,793,394
		支出	人件費支出
	教育研究経費支出		1,820,595,622
	管理経費支出		566,122,962
	教育活動資金支出計		5,981,851,233
		差引	593,942,161
		調整勘定等	△ 67,081,506
	教育活動資金収支差額	526,860,655	
施設設備活動による資金収支	収入	施設整備補助金収入	34,500,000
		施設整備売却収入	22,635,000
		施設整備等活動資金収入計	57,135,000
	支出	施設関係支出	425,657,350
		設備関係支出	192,227,618
		施設整備等活動資金支出計	617,884,968
		差引	△ 560,749,968
		調整勘定等	16,948,000
	施設整備等活動資金収支差額	△ 543,801,968	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			△ 16,941,313
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	700,000,000
		預り金受入収入	69,517,911
		保険積立金回収収入	59,304,784
		立替金回収収入	3,905,337
		仮払金回収収入	25,437,957
		小計	858,165,989
		受取利息・配当金収入	32,161,326
		その他の活動資金収入計	890,327,315
	支出	借入金等返済支出	60,000,000
		減価償却引当特定資産への繰入支出	300,000,000
		保険積立金支払支出	60,778,423
		預り金支払支出	75,318,117
		立替金支払支出	6,768,648
		仮払金支払支出	6,251,379
		小計	509,116,567
		借入金等利息支出	1,866,587
	その他の活動資金支出計	510,983,154	
		差引	379,344,161
	調整勘定等	1,692,232	
	その他の活動資金収支差額	381,036,393	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)			364,095,080
前年度繰越支払資金			2,966,991,267
翌年度繰越支払資金			3,331,086,347

事業活動収支計算書

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

(単位 : 円)

	科目	予算	決算	差異	
教育活動収支	教育活動収入の部	学生生徒納付金	4,869,150,000	4,865,399,590	3,750,410
		手数料	89,450,000	92,165,340	△ 2,715,340
		寄付金	38,600,000	39,948,244	△ 1,348,244
		経常費等補助金	1,225,400,000	1,163,554,252	61,845,748
		付随事業収入	263,450,000	279,499,282	△ 16,049,282
		雑収入	128,500,000	135,226,686	△ 6,726,686
		教育活動収入計	6,614,550,000	6,575,793,394	38,756,606
	支教育の活動部	科目	予算	決算	差異
		人件費	3,587,000,000	3,595,132,649	△ 8,132,649
		教育研究経費	2,396,050,000	2,385,295,253	10,754,747
		管理経費	615,550,000	608,550,635	6,999,365
		教育活動支出計	6,598,600,000	6,588,978,537	9,621,463
		教育活動収支差額	15,950,000	△ 13,185,143	29,135,143
	教育活動外収支	収事業の活動部	科目	予算	決算
受取利息配当金			30,200,000	32,161,326	△ 1,961,326
その他の教育活動外収入			0	0	0
		教育活動外収入計	30,200,000	32,161,326	△ 1,961,326
支事業の活動部		科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	1,450,000	1,866,587	△ 416,587
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,450,000	1,866,587	△ 416,587
		教育活動外収支差額	28,750,000	30,294,739	△ 1,544,739
		経常収支差額	44,700,000	17,109,596	27,590,404
特別収支	収事業の活動部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	55,000,000	65,206,158	△ 10,206,158
		特別収入計	55,000,000	65,206,158	△ 10,206,158
	支事業の活動部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	84,050,000	91,217,586	△ 7,167,586
		その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	84,050,000	91,217,586	△ 7,167,586	
	特別収支差額	△ 29,050,000	△ 26,011,428	△ 3,038,572	
予備費	(20,000,000)	0	0		
基本金組入前当年度収支差額	15,650,000	△ 8,901,832	24,551,832		
基本金組入額合計	△ 169,400,000	△ 131,731,153	△ 37,668,847		
当年度収支差額	△ 153,750,000	△ 140,632,985	△ 13,117,015		
前年度繰越収支差額	△ 5,172,900,000	△ 5,172,892,734	△ 7,266		
基本金取崩額	0	0	0		
翌年度繰越収支差額	△ 5,326,650,000	△ 5,313,525,719	△ 13,124,281		
(参考)					
事業活動収入計	6,699,750,000	6,673,160,878	26,589,122		
事業活動収出計	6,704,100,000	6,682,062,710	22,037,290		

事業活動収支内訳表

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目		部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高校	附属幼稚園
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒納付金	0	4,145,632,440	604,519,350	115,247,800
		手数料	1,800	64,323,460	27,642,080	198,000
		寄付金	0	38,162,244	1,786,000	0
		経常費等補助金	0	513,339,996	597,088,756	53,125,500
		付随事業収入	26,014,000	126,301,843	123,172,449	4,010,990
		雑収入	2,600,581	86,441,572	42,401,739	3,782,794
		教育活動収入計	28,616,381	4,974,201,555	1,396,610,374	176,365,084
	事業活動支出の部	人件費	34,216,175	2,742,114,097	712,164,273	106,638,104
		教育研究経費	0	1,859,741,110	461,234,266	64,319,877
		管理経費	62,678,686	299,188,165	237,906,792	8,776,992
		徴収不能額等	0	0	0	0
	教育活動支出計	96,894,861	4,901,043,372	1,411,305,331	179,734,973	
	教育活動収支差額	△ 68,278,480	73,158,183	△ 14,694,957	△ 3,369,889	
教育活動外収支	収入の部	受取利息配当金	32,161,326	0	0	0
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0
		教育活動外収入計	32,161,326	0	0	0
	支出の部	借入金等利息	0	155,342	1,711,245	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	155,342	1,711,245	0
	教育活動外収支差額	32,161,326	△ 155,342	△ 1,711,245	0	
経常収支差額		△ 36,117,154	73,002,841	△ 16,406,202	△ 3,369,889	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	0
		その他の特別収入	4,094,000	47,656,348	13,455,810	0
		特別収入計	4,094,000	47,656,348	13,455,810	0
	支出の部	資産処分差額	0	12,504,421	78,713,165	0
		その他の特別支出	0	0	0	0
		特別支出計	0	12,504,421	78,713,165	0
	特別収支差額	4,094,000	35,151,927	△ 65,257,355	0	
基本金組入前当年度収支差額		△ 32,023,154	108,154,768	△ 81,663,557	△ 3,369,889	
基本金組入額合計		△ 112,860	△ 220,205,241	88,586,948	0	
当年度収支差額		△ 32,136,014	△ 112,050,473	6,923,391	△ 3,369,889	
前年度繰越収支差額		△ 1,629,533,480	△ 1,114,884,843	△ 2,462,311,609	33,837,198	
翌年度繰越収支差額		△ 1,661,669,494	△ 1,226,935,316	△ 2,455,388,218	30,467,309	
(参考)						
事業活動収入計		64,871,707	5,021,857,903	1,410,066,184	176,365,084	
事業活動収支計		96,894,861	4,913,703,135	1,491,729,741	179,734,973	

貸借対照表

令和 5年 3月31日まで

(単位 : 円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	15,254,020,831	15,023,875,956	230,144,875
有形固定資産	10,984,726,666	11,055,395,728	△ 70,669,062
特定資産	2,800,000,000	2,500,000,000	300,000,000
その他の固定資産	1,469,294,165	1,468,480,228	813,937
流動資産	3,445,446,315	3,066,687,588	378,758,727
資産の部 合計	18,699,467,146	18,090,563,544	608,903,602
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	740,000,000	240,000,000	500,000,000
流動負債	1,026,311,129	908,505,695	117,805,434
負債の部 合計	1,766,311,129	1,148,505,695	617,805,434
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	21,715,681,736	21,583,950,583	131,731,153
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	431,000,000	431,000,000	0
繰越収支差額	△ 5,313,525,719	△ 5,172,892,734	△ 140,632,985
純資産の部 合計	16,933,156,017	16,942,057,849	△ 8,901,832
負債及び純資産の部 合計	18,699,467,146	18,090,563,544	608,903,602

財 産 目 録

令和 5年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	令和4年度末
[1]資産総額	18,699,467,146
1、基本財産	10,984,726,666
(1)土地	1,566,939,126
(2)建物	7,193,626,319
(3)構築物	364,435,473
(4)図書	502,288,687
(5)教具・校具、及び備品	1,282,785,129
(6)車両	2,833,582
(7)建設仮勘定	71,818,350
2、運用財産	7,714,740,480
(1)預金、現金	3,331,086,347
(2)特定資産	2,800,000,000
(3)保険積立金	442,096,389
(4)有価証券	779,847,400
(5)未収入金	77,388,128
(6)立替金	6,768,648
(7)前払金	21,831,813
(8)仮払金	6,251,379
(9)電話加入権	952,358
(10)施設利用権	2,380,600
(11)出資金	600,000
(12)敷金	9,281,901
(13)ソフトウェア	3,711,410
(14)収益事業元入金	211,344,107
(15)長期貸付金	19,080,000
(16)短期貸付金	2,120,000
[2]負債総額	1,766,311,129
1、固定負債	740,000,000
(1)長期借入金	740,000,000
2、流動負債	1,026,311,129
(1)短期借入金	200,000,000
(2)未払金	25,661,118
(3)前受金	731,132,100
(4)預り金	69,517,911

3-2 事業活動収支計算の推移

(単位:円)

学 園	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収入	5,898,566,925	6,228,268,365	6,283,976,978	6,476,998,296	6,607,954,720
経常支出	5,440,493,326	5,920,634,331	6,194,753,624	6,294,496,643	6,590,845,125
経常収支差額	458,073,599	307,634,034	89,223,354	182,501,653	17,109,595
人件費	3,165,353,256	3,409,812,868	3,387,604,565	3,476,826,524	3,595,132,649
教育研究経費	1,827,900,895	2,065,471,748	2,373,041,968	2,371,309,142	2,385,295,253
管理経費	446,867,425	445,276,319	434,024,791	446,337,964	608,550,635
その他	371,750	73,396	82,300	23,013	1,866,587

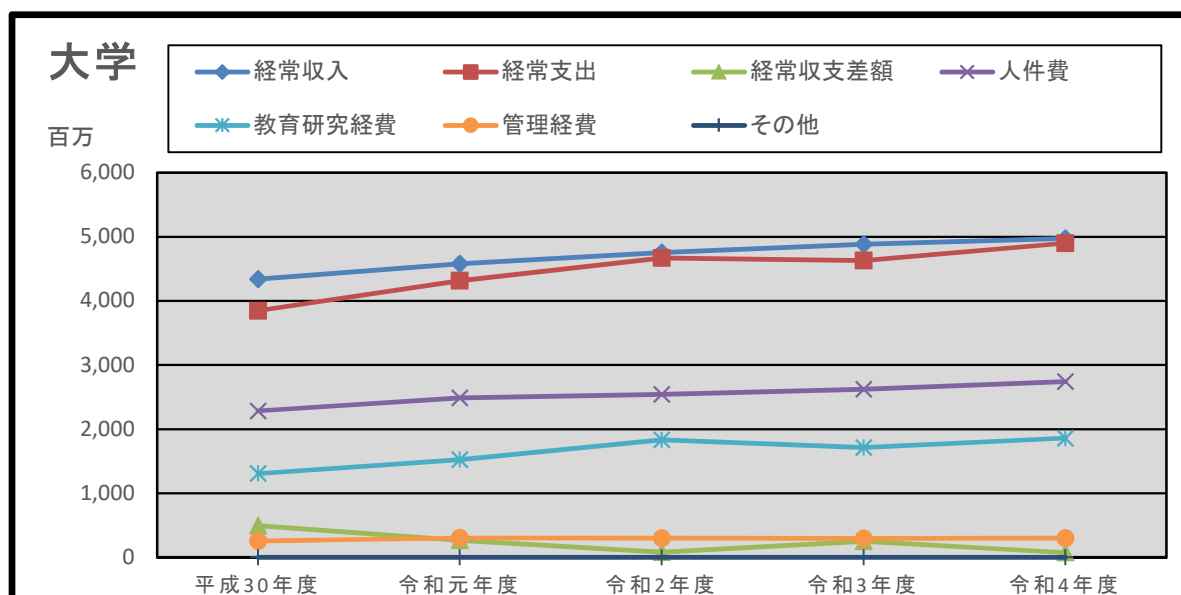
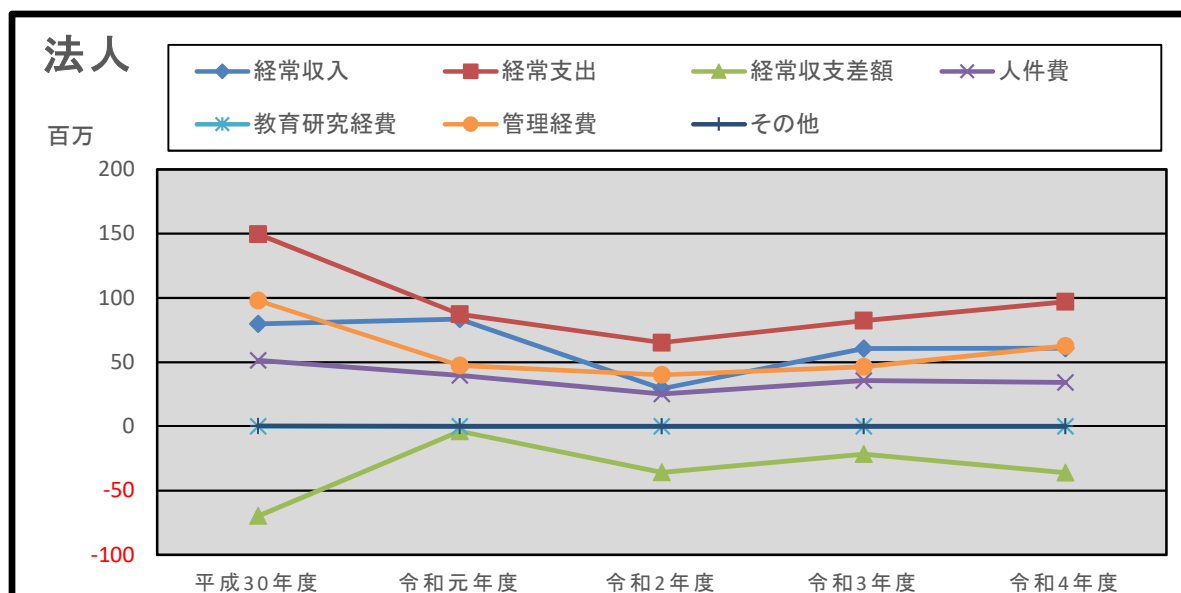
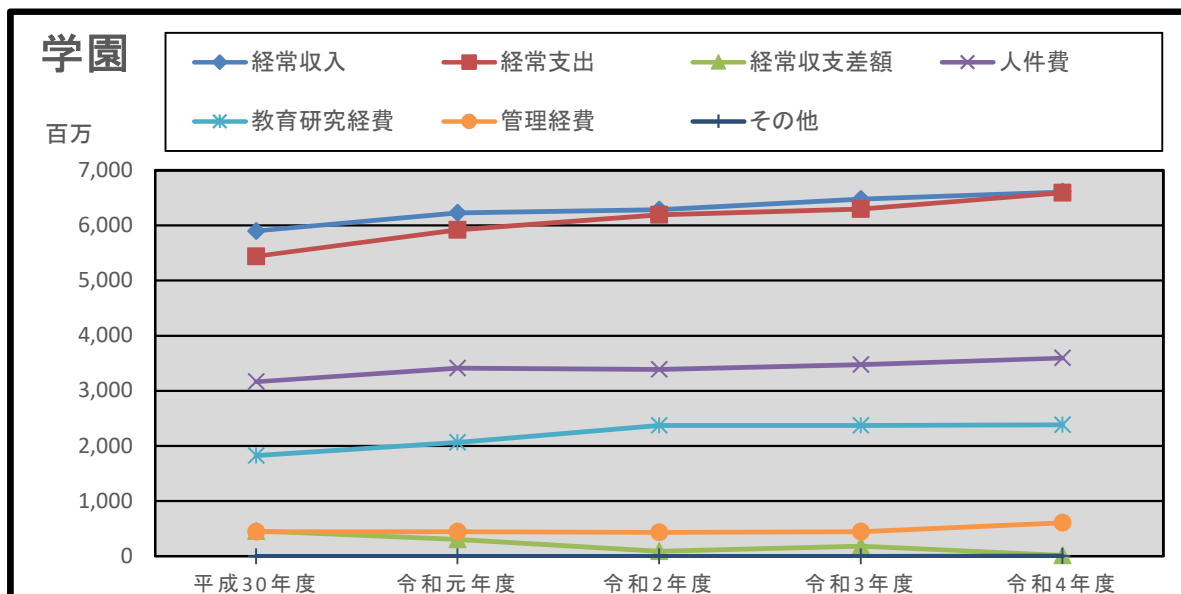
法 人	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収入	79,827,517	83,464,636	29,395,580	60,538,513	60,777,707
経常支出	149,636,542	87,327,687	65,196,792	82,193,914	96,894,861
経常収支差額	△ 69,809,025	△ 3,863,051	△ 35,801,212	△ 21,655,401	△ 36,117,154
人件費	51,305,283	39,775,822	25,150,428	35,748,076	34,216,175
教育研究経費	0	0	0	0	0
管理経費	97,959,509	47,478,469	40,046,364	46,445,838	62,678,686
その他	371,750	73,396	0	0	0

大 学	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収入	4,341,411,864	4,579,680,141	4,754,348,632	4,882,465,321	4,974,201,555
経常支出	3,847,665,768	4,314,732,983	4,671,704,031	4,630,936,937	4,901,198,714
経常収支差額	493,746,096	264,947,158	82,644,601	251,528,384	73,002,841
人件費	2,284,686,138	2,489,952,038	2,541,451,653	2,621,612,112	2,742,114,097
教育研究経費	1,307,159,149	1,522,129,720	1,831,677,883	1,712,262,676	1,859,741,110
管理経費	255,820,481	302,651,225	298,492,195	297,062,149	299,188,165
その他	0	0	82,300	0	155,342

高 校	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収入	1,266,465,124	1,353,164,256	1,305,597,207	1,341,287,341	1,396,610,374
経常支出	1,240,806,940	1,315,205,438	1,280,141,239	1,383,582,027	1,413,016,576
経常収支差額	25,658,184	37,958,818	25,455,968	△ 42,294,686	△ 16,406,202
人件費	716,804,045	769,453,223	724,050,672	711,743,327	712,164,273
教育研究経費	442,302,050	460,908,915	470,385,253	577,000,385	461,234,266
管理経費	81,700,845	84,843,300	85,705,314	94,815,302	237,906,792
その他	0	0	0	23,013	1,711,245

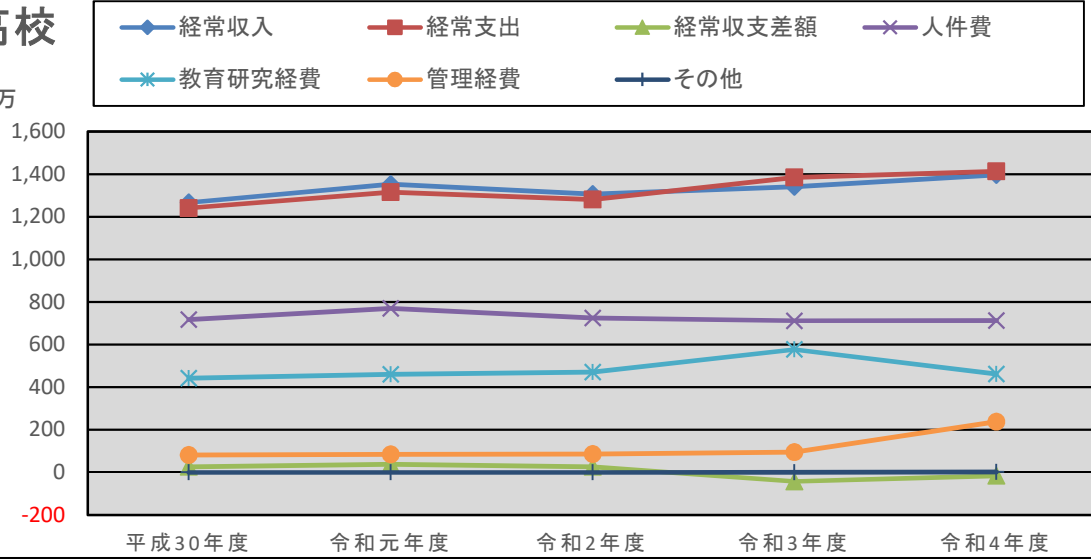
幼稚園	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収入	210,862,420	211,959,332	194,635,559	192,707,121	176,365,084
経常支出	202,384,076	203,368,223	177,711,562	197,783,765	179,734,973
経常収支差額	8,478,344	8,591,109	16,923,997	△ 5,076,644	△ 3,369,889
人件費	112,557,790	110,631,785	96,951,812	107,723,009	106,638,104
教育研究経費	78,439,696	82,433,113	70,978,832	82,046,081	64,319,877
管理経費	11,386,590	10,303,325	9,780,918	8,014,675	8,776,992
その他	0	0	0	0	0

3-3 事業活動収支計算の推移のグラフ



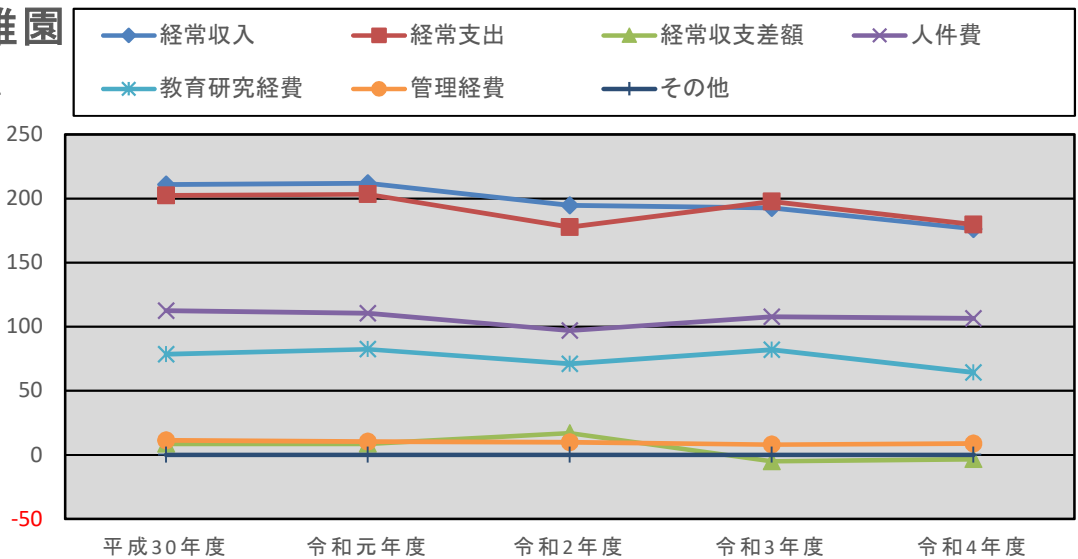
高校

百万



幼稚園

百万



3-4 財務比率の推移

○事業活動収支計算書関係比率(法人全体)

(%)

比率	算式(×100)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全国平均
人件費比率▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	53.7	54.7	53.9	54.0	54.4	51.3
人件費依存率▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	73.8	76.0	73.6	73.4	73.9	69.7
教育研究経費比率△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	31.0	33.2	37.8	36.9	36.1	34.3
管理経費比率▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	7.6	7.1	6.9	6.9	9.2	8.3
事業活動収支差額比率△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	7.7	5.0	1.9	3.5	△ 0.1	6.4
学生生徒等納付金比率～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	72.8	72.0	73.2	73.6	73.6	73.6
寄付金比率△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.8	1.0	1.0	2.1	1.2	2.2
補助金比率△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	17.0	16.5	19.3	17.5	17.8	14.3
経常収支差額比率△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	7.8	4.9	1.4	2.8	0.3	5.9
教育活動収支差額比率△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	7.4	4.1	1.0	2.1	△ 0.2	4.2

(注) 全国平均の比率は、日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」における私立大学(医歯系法人を除く)の令和3年度の平均値である。

比率項目横の印は、一般的な財務比率の高低の評価で △=高い値が良い ▼=低い値が良い ～どちらともいえないを示している。

○貸借対照表関係比率

(%)

比率	算式(×100)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全国平均
固定資産構成比率▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	86.9	85.8	86.0	83.0	81.6	85.9
流動資産構成比率△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	13.1	14.2	14.0	17.0	18.4	14.1
純資産構成比率△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	94.8	95.0	95.3	93.7	90.5	88.0
固定比率▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	91.7	90.3	90.2	88.7	90.1	97.6
流動比率△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	253.8	285.7	299.8	337.6	335.7	262.9
前受金保有率△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	290.8	339.7	348.1	395.0	455.6	373.5
基本金比率△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	101.2	100.0	100.0	99.6	98.6	97.3

(注) 全国平均の比率は、日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」における私立大学(医歯系法人を除く)の令和3年度の平均値である。

比率項目横の印は、一般的な財務比率の高低の評価で △=高い値が良い ▼=低い値が良い ～どちらともいえないを示している。

3-5 資金収支計算書

「資金収支計算書」は学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する、すべての収入・支出の内容を明らかにするものであり、かつ支払い資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

3-6 資金収支計算書 収入の部

学生生徒等納付金収入 予算4,869,150千円に対し決算4,865,399,590円で3,750,410円の減額、手数料収入 予算89,450千円に対し決算92,165,340円で2,715,340円の増額、寄付金収入 予算73,100千円に対し決算74,448,244円で1,348,244円の増額、補助金収入 予算1,243,600千円に対し決算1,186,189,252円で57,410,748円の減額、資産売却収入 予算0円に対し決算0円で増減なし、付随事業・収益事業収入は主に学生寮寮費及び学生駐車場の利用料、受託・共同研究費の収入、高等学校オアシスの利用料であり、予算263,450千円に対し決算279,499,282円で16,049,282円の増額、受取利息・配当金収入 予算30,200千円に対し決算32,161,326円で1,961,326円の増額、雑収入 予算128,500千円に対し決算135,226,686円で6,726,686円の増額、借入金等収入 予算700,000千円に対し決算700,000,000円で増減なし、前受金収入 予算690,050千円に対し決算731,132,100円で41,082,100円の増額、その他の収入 予算172,700千円に対し決算218,885,052円で46,185,052円の増額、資金収入調整勘定 予算△801,050千円に対し決算△828,465,088円で27,415,088円の減額、前年度繰越支払資金 予算2,966,950千円に対し決算2,966,991,267円となり、収入の部合計 予算10,426,100千円に対し決算10,453,633,051円で27,533,051円の増額となった。

3-7 資金収支計算書 支出の部

人件費支出 予算3,587,000千円に対し決算3,595,132,649円で8,132,649円の増額、教育研究経費支出 予算1,810,650千円に対し決算1,820,595,622円で9,945,622円の増額、管理経費支出 予算572,750千円に対し決算566,122,962円で6,627,038円の減額、借入金等利息支出 予算1,450千円に対し決算1,866,587円で416,587円の増額、借入金等返済支出 予算60,000千円に対し決算60,000千円で増減なし、施設関係支出 予算451,250千円に対し決算425,657,350円で25,592,650円の減額、尚この支出には、土地支出として大学の土地の等価交換のための手数料、建物支出として大学1・2号館及び第2体育館のエアコン更新工事費及び高等学校女子寮の建築費、構築物支出として高等学校女子寮の外構工事及び駐車場造成工事、建設仮勘定として保健医療学部新校舎の設計監理料が計上されている。設備関係支出 予算205,300千円に対し決算192,227,618円で13,072,382円の減額、資産運用支出 予算357,750千円に対し決算360,778,423円で3,028,423円の増額、その他の支出 予算87,500千円に対し決算132,280,575円で44,780,575円の増額、資金支出調整勘定 予算△56,400千円に対し決算△32,115,082円で24,284,918円の増額となり、次年度繰越支払資金 予算3,328,850千円に対し決算3,331,086,347円で2,236,347円の増額となり、支出の部合計 予算10,426,100千円に対し決算10,453,633,051円で27,533,051円の増額となった。

3-8 活動区分資金収支計算書

教育活動による資金収支 教育活動資金収入計6,575,793,394円に対し教育活動資金支出計5,981,851,233円で差引593,942,161円に調整勘定等△67,081,506円を加算した結果、教育活動資金収支差額526,860,655円となった。
施設整備等活動による資金収支 施設整備等活動資金収入計57,135,000円に対し施設整備等活動資金支出計617,884,968円で差引△560,749,968円に調整勘定等16,948,000円を加算した結果、施設整備等活動資金収支差額△543,801,968円となり、小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)が△16,941,313円となった。
その他の活動による資金収支 その他の活動資金収入計890,327,315円に対しその他の活動資金支出計510,983,154円で差引379,344,161円に調整勘定等1,692,232円を加算した結果、その他の活動資金収支差額381,036,393円となった。
この結果、支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)364,095,080円を前年度繰越支払資金2,966,991,267円に加算し翌年度繰越支払資金3,331,086,347円となった。

3-9 事業活動収支計算書

教育活動収支 教育活動収入計 予算6,614,550千円に対し決算6,575,793,394円で38,756,606円の減額、教育活動支出計 予算6,578,600千円に対し決算6,588,978,537円で10,378,537円の増額となり教育活動収支差額 予算35,950千円に対し決算△13,185,143円で49,135,143円の減額となった。

教育活動外収支 教育活動外収入計 予算30,200千円に対し決算32,161,326円で1,961,326円の増額、教育活動外支出計 予算1,450千円に対し決算1,866,587円で416,587円の増額となり教育活動外収支差額 予算28,750千円に対し決算30,294,739円で1,544,739円の増額で、経常収支差額 予算64,700千円に対し決算17,109,596円で47,590,404円の減額となった。

特別収支 特別収入計 予算55,000千円に対し決算65,206,158円で10,206,158円の増額、特別支出計 予算84,050千円に対し決算91,217,586円で7,167,586円の増額となり特別収支差額 予算△29,050千円に対し決算△26,011,428円で3,038,572円の増額となった。

基本金組入前当年度収支差額 予算15,650千円に対し決算△8,901,832円で24,551,832円の減額、基本金組入額合計 予算△169,400千円に対し決算△131,731,153円で37,668,847円の増額となり、当年度収支差額 予算△153,750千円に対し決算△140,632,985円で13,117,015円の増額、前年度繰越収支差額 予算△5,172,900千円に対し決算△5,172,892,734円で7,266円の増額、翌年度繰越収支差額 予算△5,326,650千円に対し決算△5,313,525,719円で13,124,281円の増額となった。

3-10 貸借対照表

○ 資産の部

固定資産 本年度末15,254,020,831円に対し前年度末15,023,875,956円で230,144,875円の増額、流動資産 本年度末3,445,446,315円に対し前年度末3,066,687,588円で378,758,727円の増額となり、資産の部合計 本年度末18,699,467,146円に対し前年度末18,090,563,544円で608,903,602円の増額となった。

○ 負債の部

固定負債 本年度末740,000,000円に対し前年度末240,000,000円で500,000,000円の増額、流動負債 本年度末1,026,311,129円に対し前年度末908,505,695円で117,805,434円の増額であり、負債の部合計 本年度末1,766,311,129円に対し前年度末1,148,505,695円で617,805,434円の増額となった。

○ 純資産の部

基本金 本年度末22,246,681,736円に対し前年度末22,114,950,583円で131,731,153円の増額、繰越収支差額 本年度末△5,313,525,719円に対し前年度末△5,172,892,734円で140,632,985円の減額であり、純資産の部合計が本年度末16,933,156,017円に対し前年度末16,942,057,849円で8,901,832円の減額となった。この結果、負債及び純資産の部合計本年度末18,699,467,146円に対し前年度末18,090,563,544円で608,903,602円の増額となった。

3-11 監査報告書

監 査 報 告 書

学校法人 高崎健康福祉大学
理事長 須藤 賢一 殿

令和5年 5月19日

学校法人 高崎健康福祉大学

監 事 永井 乙彦



監 事 高橋 永一



私たち監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人高崎健康福祉大学寄附行為第8条各号の定めに基づき、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の法人の財産の状況又は理事の業務の執行及び学校法人の業務の執行および決定の状況を監査いたしました。その結果につき下記のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会、評議員会に出席したほか、学校法人の業務の執行、理事から業務執行および財産の状況につき説明を求め、報告を聴取しました。また、会計監査人である「柄澤公認会計士事務所」、「兒島公認会計士事務所」と連携を図り、計算書類につき検討を加えた。

2. 監査の結果

- (1) 財産目録、事業報告書、貸借対照表及び収支計算書は、法令及び寄附行為に従い法人の財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務の執行、理事の業務の執行に関しては、不正の行為がなく、かつ、法令及び寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上

所在地

法人本部・健康福祉学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町37-1
TEL 027-352-1290 FAX 027-353-2055
URL <https://www.takasaki-u.ac.jp>

薬学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60
TEL 027-352-1180 FAX 027-352-1118

保健医療学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町501
TEL 027-352-1291 FAX 027-352-1985

人間発達学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町58-2
TEL 027-352-5558 FAX 027-352-1311

農学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町54
TEL 027-388-8390 FAX 027-388-8393

高等学校

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町531
TEL 027-352-3460 FAX 027-353-0855
URL <https://www.tuhw-h.ed.jp>

幼稚園

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町506-1
TEL 027-352-3461 FAX 027-352-7180
URL <https://takasaki-u-kinder.com>

クリニック

〒370-0036 群馬県高崎市南大類町200-2
TEL 027-388-8840 FAX 027-388-8860
URL <https://www.kendai-clinic.jp>